

2025. 8. 27

北九州市教職員組合にゆうす



## 「8・6平和のつどい」開催される！その6

テーマ **「あれから80年 現在、そしてこれから…～いま私たちにできることは～」**

参加者からのメッセージのつづきです。

○戦争は何故、人の心も行動までも残虐になり、それを正当化できるのだろうか？この世に命が与えられた時には誰ひとりとして、このような心も行動すらできないのに。だからこそ、戦争を根絶し平和であり続けることが、今私たちにできる重要な使命であると実感しました。8・6平和のつどいが、そのメッセージを担うのですね。(60代の参加者からのメッセージ)

○教科書だけでは知ることのできない戦争時代の本当の姿を知ることができて、ショックも少し受けたけど、知らなきゃいけないことを知ることができてよかったです。放送部の方々の音読がとても素晴らしかったです。合唱をされていた方々の歌声が本当に美しく感動しました。(20代の参加者からのメッセージ)

○戦後 80 年の節目を機に初めて参加しました。改めて、語り継ぐことの大切さを感じました。コーラスがとても感動しました。(50代の参加者からのメッセージ)



○すばらしい取組ですね！北九州でこんな取組があるとは初めて知りましたが、来年もこれからもずっと参加します。亡母がいつも小倉のかわりに長崎が犠牲になったことで毎年長崎へ8月9日前後にお参りする事をしてきた事を自分も継承したくて今年は子ども達と共に訪れました。孫達が大きくなったら、ぜひ平和教育にかかわってほしいです。ありがとうございました！(60代の参加者からのメッセージ)



○毎年工夫をこらして平和の努力を続けてくださり、ありがとうございます。21世紀は平和と思っていたのに、他国への侵略、ジェノサイド、核施設攻撃と全く20世紀の教訓がないと怒ることばかり。この機を利用して、日本も軍事化へ急速に舵を切り、法律もどんどん塗り替えている！また戦争が起こると感じています。国民はだまされず、一つ一つにいけないと声を出さないと黙らされる時はすぐ来ると思う。(60代の参加者からのメッセージ)

### 【Chœur Ciel Bleu のエピソード】

今年は高校生大使の考え方を紹介する内容の曲を歌うことにしました。前向きで希望の持てる歌詞は感動的であり、勇気づけられるものでもありました。特に、「私たちは微力だけれど無力ではない」というスローガンは、一度耳にしたらしっかりと記憶に残るほどのインパクトがあるように思います。

今年は初の試みとして、この歌詞を朗読した後に歌う事、この歌詞を読むのに合わせて、イラストや歌詞をバックの壁面に映像として映し出した事の2つを考えました。映像の方は某実行委員にお願いしました。私としては、とても素晴らしい出来栄えだったと感心しており、またリクエストしたいなどと考えています。

もう一つの朗読の方は私の母校である八幡高校の放送部にお願いしました。毎年のように全国大会に出場している実力ある部活です。今回の曲が高校生の活動や考えが主体の内容だっただけに、見事にマッチしたと思いました。それに、50～60 歳もの年齢差がある Chœur Ciel Bleu と現役の高校生がステージ上でコラボできたことは意義深いものでもあったと思います。今回は中学生の曲も含めて、重たい雰囲気にはならず、明るい感じで会を終えられたのは良かったかなと思いました。(悲しいイメージのレパトリーはたくさん持っていますが)

NO.28 につづく

わからないこと・困ったことがあったら… 何でも気軽にお問い合わせください！

///JTU 北九州市教職員組合 〒802-0072 小倉北区東篠崎3丁目4-1

E-mail: jtuhokyu@lime.ocn.ne.jp

北九州教育会館 TEL (093) 953-0381

